

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民団体と市長の対話集会開催事業		
事業担当	市民部 市民情報・相談課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード      ● ソフト
行政改革の位置付け	11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	02	多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者	市民団体、市民	事業期間	～平成20年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
市民団体と市長が意見交換を行い、市民の様々な意見が行政に反映されています。		市民と市長が意見交換を行う「市民と市長のいどばた会議」を、さらに踏み込んで話し合い、協働してよりよいまちづくりを進めるために「市民団体」と市長と一緒に考え、議論を深める場として開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	いどばた会議で市長と意見交換する市民団体の数						単位	団体
	説明・算定式	市民団体といどばた会議を行います。							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			4	-	-	-		
	実績			2					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
成果指標①	指標名	市民団体から提案され検討する意見数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			20	-	-	-		
	実績			18					
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
進捗状況	③：遅れている								
	遅れている理由	市民団体との調整が合わなかったため							
平成20年度の主な取組と成果									
市民と市長が意見交換を行う「市民と市長のいどばた会議」を、さらに踏み込んで話し合い、協働してよりよいまちづくりを進めるために「市民団体」と市長と一緒に考え、議論を深める場として開催し、今年度については2団体と行いました。									
平成20年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	よりよいまちづくりを進めるためには、「市民団体」との協働が必要です。	● 高 ○ 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地域の課題を共有し、その課題にどのように取り組んだらいいかなど、今後のまちのあり様について、語り合う場になります。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民参加を進め、協働のまちづくりの一つのきっかけになります。	○ 高 ● 中 ○ 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民活動が活発化することで、よりよいまちづくりが進みます。	○ 高 ● 中 ○ 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> 市内各地域で市民活動が活発化し、平成21年度から市民活動団体と行政による事業がスタートすることなどから、市民参加を進め協働のまちづくりのひとつのきっかけとして始めた対話集会は、平成20年度で終了することとします。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容				市民(団体)との いどばた会議の開催				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	5	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	5	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	5,874	0	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	5,879	0	0	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 市内各地域で市民の活動が活発化し、平成21年度からは市民活動団体と行政による事業がスタートすることなどから、市民参加を進め協働のまちづくりのひとつのきっかけとして始めた対話集会は、平成20年度で終了することとします。	
平成22年度の実行方針	
市民参加を進め協働のまちづくりのひとつのきっかけとして始めた対話集会は、平成21年度から市民活動団体と行政による事業がスタートすることなどから、平成20年度で終了することとします。	
課長コメント	平成21年度からは市民活動団体と行政による事業がスタートすることなどから、市民参加を進め協働のまちづくりのひとつのきっかけとして始めた対話集会は一応の役割を果たしたため終了します。

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民会議・附属機関等への市民参加及び女性参画推進事業		
事業担当	総務部 行政総務課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	02	多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者		事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
市の条例案や計画案等の策定に際して、多様な市民意見を行政運営に反映することにより、公正性や透明性が確保されています。		必要と認められる附属機関等については委員の公募を積極的に推進します（市民委員の参画がなじまないものは除く）。また、施策等決定過程の場への女性の参画機会の拡大を図るため、附属機関等の女性構成比率を高めるように努めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	公募実施状況等調査実施回数						単位	回
	説明・算定式	附属機関等を所管する関係課へ公募実施状況等に係る調査を実施します。							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			1	1	1	1	1	
	実績			1					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
成果指標①	指標名	市民委員が参画する附属機関等における公募委員の割合						単位	%
	説明・算定式	公募委員数/市民委員が参画する附属機関等委員数×100							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			20	20	20	20	20	
	実績			5					
成果指標②	指標名	附属機関等における女性委員の割合						単位	%
	説明・算定式	女性委員数/附属機関等委員総数×100							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			40	40	40	40	40	
	実績			33.1					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
女性委員数の割合については、20年度は33.1%で、19年度よりも0.2%程度の減少となりました。公募委員の人数割合が目標値の20%を達成している附属機関等については、全体の4割程度に留まっています。									
平成20年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価		
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	附属期間等における公募委員及び女性委員の選出割合の目標値を達成していくためには、必要なものです。 附属機関等の担当課に対して、目標値を示して達成への働きかけを継続することは、有効な手段であると考えます。 「附属機関の設置及び委員の選出に関する基準」及び「附属機関への女性の参画促進について(指針)」に基づいたものであり、妥当であると考えます。 公募委員と女性委員の選出割合を改善していくための手法については検討の余地があるかと考えます。
今後に向けた課題の分析 公募委員については、それぞれの附属機関における要綱等により人数が規定されている例が多く、選出割合の改善についてはこの要綱等の改正が必要と考えられます。						

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容				附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.25	0.20	0.20	0.20	0.20
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,098	1,672	1,672	1,672	1,672
フルコスト (A+B)		0	0	2,098	1,672	1,672	1,672	1,672

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続    ○ 拡大して継続    ○ 縮小して継続    ○ 廃止    ○ 休止    ○ 終了    ○ 他事業と統合	
<判断理由> 公募委員と女性委員の選出割合の改善について引き続き各担当課への働きかけを行うこととし、現状規模での継続とします。	
平成22年度の取組方針	
公募委員と女性委員の選出割合が、目標値に届くことを目指して、引き続き各担当課に働きかけを行います。	
課長コメント	引き続き、公募委員と女性委員の選出割合の改善に向けて、各担当課への働きかけを行っていく必要があると考えます。



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会（町内会）に関する情報不足を解消するために、地域ポータルサイトを構築して、情報を発信していくことは必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での情報の共有化を図ることで、自治会加入促進にもつながると考えられます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会（町内会）に関する情報発信の有効的な手段として、ホームページの立ち上げを支援していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 情報を発信するためのホームページを主体的に開設する自治会（町内会）へ呼び掛けて、ホームページの立ち上げを支援しています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> アクセス件数（指標）は、ポータルが立ち上がった後になるため、現時点では指標の測定が出来ず指標の設定について見直しが必要です。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

（単位：千円）

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容				モデルとなるHPの開設、サイト立上げに向けたしくみの検討	モデルとなるHPの開設、サイト立上げに向けたしくみの検討	他地区への拡大、HP開設支援等、サイト立上げに向けたしくみの検討		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費（A）		0	0	0	0	0	0	0
執行率（%）		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員（人）	0.00	0.00	0.15	0.25	0.25	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費（B）		0	0	1,259	2,089	2,089	0	0
フルコスト（A+B）		0	0	1,259	2,089	2,089	0	0

## 4. 今後の事業展開（担当課としての提案）

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> ポータルサイト構築に向けて、現状の規模で事務事業に切り替えて継続します。	
平成22年度の取組方針	
ポータルサイト構築に向け、連合自治会や地域団体間との連絡調整等のコーディネート機能を行うとともに、モデルとなるような地域情報のホームページを他地区に拡大するための普及や支援を行います。また、指標は、ポータルが立ち上がった後になるため、現時点では指標の測定が出来ず指標の設定について見直しが必要です。	
課長コメント	まずは、地域内の複数の団体の情報の集約、整理、発信などの管理運営が行えるよう、地域に出向き、担い手を含めた推進体制を地域とともに整えていきたいと考えています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	住民実態調査事業		
事業担当	企画部 企画課		
予算科目	01-020502-010000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	02	多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等	平塚市住民の実態調査に関する条例		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
住民実態調査を行い、より多くの市民意見が施策に反映されています。		各事務事業に対する市民の満足度・重要度を把握するため、住民実態調査の中で市民満足度調査も実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	回収率						単位	%
	説明・算定式	住民実態調査等の調査票回収率							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			50	50.5	-	50.5	50.5	
	実績			48.4					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
成果指標①	指標名	市民意識調査の満足度の平均点数						単位	点
	説明・算定式	満足度「ふつう：0点」を標準とする平均評価点数、「そう思う：2点」、「ややそう思う：1点」、「あまりそう思わない：▲1点」、「そう思わない：▲2点」							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	0	-	0.1	0.2	
	実績			-					
成果指標②	指標名	市民満足度・重要度に関する調査内容の検討の進捗度						単位	%
	説明・算定式	平成20年度：たたき台（10%）、平成21年度：素案（30%）、平成22年度：案（40%）、平成23年度：完成（20%）							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			10	40	80	100	-	
	実績			40					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
自治会・町内会をはじめとする地域組織の活動及び平塚市まちづくり条例について調査しました。平成21年度に総合計画の基本目標の達成状況を確認するための市民意識調査を実施することについて検討を行い、調査表の案を作成しました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市民の実態や意識を調査することによって、市民ニーズを把握することができます。	● 高 ○ 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市民の実態や意識を調査することによって、市民の施策に対する満足度を把握し、その結果を施策の展開に反映することができます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の実態や意識を調査することは、事業や施策の展開に必要なものなので、妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	調査対象抽出標本数については検討する必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> 回収率を高めるために調査票の質問方法の更なる検討を行う必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容				調査設問の検討、 実施、結果報告書 作成・公表、内容 ・項目の検討等	市民意識調査の実 施、結果報告書作 成・公表	調査内容・項目の 検討	内容・項目の検討 、調査設問の検討 、実施、結果報告 書の作成・公表等	調査設問の検討、 実施、結果報告書 の作成・公表等
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	776	1,281	0	1,281	1,281
事業費 (A)		0	0	776	1,281	0	1,281	1,281
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.50	0.40	0.20	0.40	0.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.05	0.10	0.00	0.10	0.10
人件費 (B)		0	0	4,367	3,688	1,672	3,688	3,688
フルコスト (A+B)		0	0	5,143	4,969	1,672	4,969	4,969

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 平成22年度は国勢調査のため意識調査は実施しませんが、調査内容の検討を行います。	
平成22年度の取組方針	
調査票の内容や調査対象の標本数について検討を行います。	
課長コメント	総合計画の基本目標の達成状況を継続的に確認するために、市民意識調査は必要であると考えます。

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民アンケート調査事業		
事業担当	企画部 行財政改革推進課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	02	多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	～平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
市民意識や市政への評価、ニーズ等を把握することにより、市民の視点に立った各種事業や施策の展開が図られています。		公共施設利用者や市役所来庁者等に対して、窓口サービスや施設利用に対する要望や満足度などに関するアンケート調査を実施し、各種事業や施策へ反映していきます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	調査実施回数						単位	回
	説明・算定式	アンケート調査を実施した回数							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績			2	2				
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績			-	-				
成果指標①	指標名	利便性が向上した項目数						単位	件
	説明・算定式	アンケート調査の回答により改善された項目							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績			-	2				
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績			-	-				
進捗状況	③：遅れている								
	遅れている理由	異なる事業や施設に対して、統一的なアンケートを実施することは困難です							
平成20年度の主な取組と成果									
公共施設利用者アンケートを12月1日から14日に13施設を対象に実施しました。回答件数は445件。アンケート結果を施設所管課に報告して、今後の課題として協議・検討していくことになりました。									
平成20年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市の事業や施設を対象としていますので、市が行う必要性は高いですが、個々の案件に対しては主管課において独自にアンケートを実施しています。	○ 高 ● 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民の意見を聞くという意味では有効ですが、統一的に行うことによる効果を考えると、必ずしも有効とは考えられません。	○ 高 ● 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	調査テーマが不確定であるとともに、主管課で行うアンケート調査との違いを考えると不明確です。	○ 高 ○ 中 ● 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	実施にあたっては関係課と協議するなど、お互いの認識を深めるとともに、他課とも協力して行っています。	○ 高 ● 中 ○ 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> アンケートの実施に際して、調査テーマの設定が困難です。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容				テーマ等、施策反映等の検討、調査実施、結果分析・施策等への反映	テーマ等、施策反映等の検討、調査実施、結果分析・施策等への反映			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.30	0.20	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,518	1,672	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	2,518	1,672	0	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 成果指標が『利便性の向上』ですので、それを活動指標に設定している『窓口開庁時間等の拡大推進事業』のための一手法と位置づけて、関係課と協議して必要に応じて実施します。	
平成22年度の取組方針	
アンケートの実施については、必要に応じて関係各課と協議して随時実施します。	
課長コメント	目的の異なる多くの施設を対象に、本事業を単独で統一して実施することには無理があることから、事業の見直しを行い、各施設ごとに主管課と調整の上実施することで、効果を上げてまいります。